

国立大学法人 大阪大学  
**放射線科学基盤機構**

Institute for Radiation Sciences  
OSAKA UNIVERSITY

**機構長挨拶**

平成 30 年 4 月 1 日に「大阪大学放射線科学基盤機構」が発足いたしました。本機構は、放射線科学関連の新しい研究教育や課題解決が部局横断で機動的に行えるよう、全学の放射線関連施設を一元化する組織であり、放射線安全管理の全学体制の充実と合理化、当該分野の研究の機能強化を図り、産学官共創による放射線の平和利用を目指す組織です。

本機構では、概算要求「放射線科学基盤機構設置による新規医療イノベーションの推進」(H30-34)が進められており、アルファ線核医学治療法開発を中心に、人材育成（医療人材、アジア人材）、放射線教育にも注力し、学内の加速器施設と医学部附属病院とも連携して産学共創による新規医療応用を推進して参ります。また同時に、新しい部局横断的な研究体制や全学的な教育プログラムの構築、国内外の関連機関との連携強化により、次世代の革新的イノベーション創出にも貢献して参ります。

本機構は、以下の組織図に示すように、3 部門と 1 附属センターからなり、専任教職員（特任等を含む）10 名、13 関連部局からの兼任教職員 124 名を有する全学体制の組織として、活動を開始しました。学内外の関係者、関係機関の皆さまのご支援、ご協力を宜しく申し上げます。

放射線科学基盤機構 機構長 篠原 厚

**2018 年 8 月 1 日（水）機構発足記念式典・記念シンポジウム開催**

場所：千里ライフサイエンスセンター

時間：第 1 部 記念式典 10：30（山村雄一記念ライフホール）  
第 2 部 記念シンポジウム 13：00（山村雄一記念ライフホール）  
第 3 部 記念祝賀会 17：30（千里ルーム）

記念式典：祝辞 西尾章治郎 大阪大学総長、来賓挨拶 文部科学省、関係機関の代表

記念シンポジウム：特別講演 平野俊夫 量子科学技術研究開発機構理事長

招待講演 F. Giesel 教授（ハイデルベルグ大）

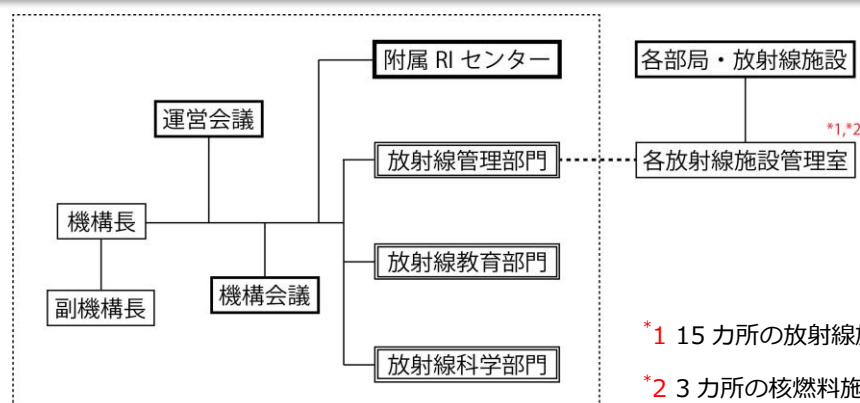
講演 放射線関連研究の最前線、アルファ線核医学治療法開発の展望

※ 参加ご希望の方は、こちらよりご登録をお願いいたします ※

URL: <https://goo.gl/forms/D23xFtgUahivbOvw2>

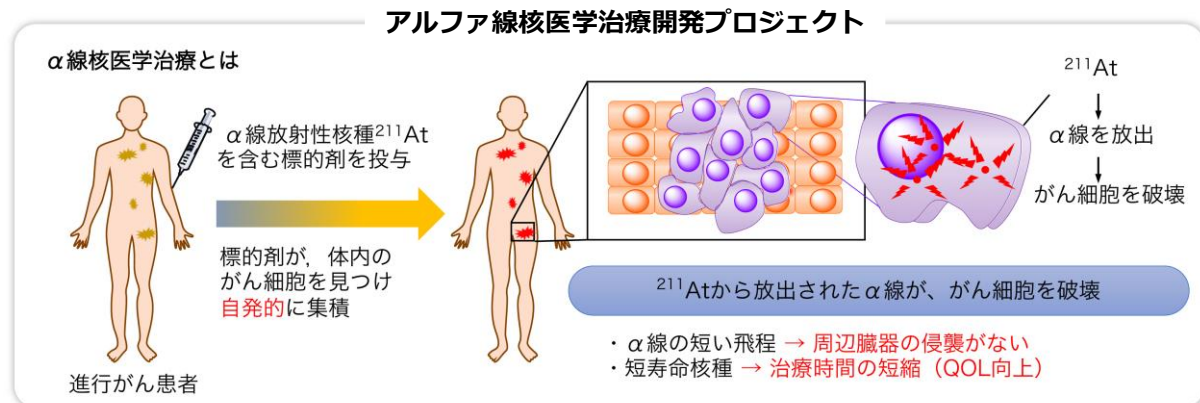


**機構組織図**



## 放射線科学部門

産学官連携室、施設維持共同利用管理室および推進する各研究プロジェクトが中心となり、放射線関連研究を部局横断的に進めます。放射線関連研究の産学共創、共同利用などの窓口となります。研究プロジェクトとしては、現時点で医学系研究科、理学研究科、核物理研究センターと連携して「アルファ線核医学治療開発プロジェクト」が進められています。今後、新規研究プロジェクトを随時立ち上げてゆきます。



がん患者の1/3は初診時に隣接臓器浸潤、遠隔転移などの進行がんであり、外科的切除、放射線照射などによる治療が困難となっています。現在は化学療法、免疫療法が主な治療手段ですが、5年相対生存率は15%以下です。そこでこれらの初診時進行がんを主な対象とし、副作用の低い治療法としてアルファ線放射性核種を投与することで、体内に取り込まれたアルファ線によりがん細胞を破壊する「アルファ線核医学治療法」の開発を目的としています。これにより難治性進行癌の外来治療が可能になると期待されています。

## 放射線管理部門

大阪大学が有する放射性同位元素使用施設及び核燃料物質使用施設の放射線安全管理を各施設の管理室と連携し、全学の放射線管理の総括に関する業務を行っています。安全文化の醸成やしっかりとしたリスク管理を可能とする全学的組織化は、全国の大学に先駆けた試みです。

## 放射線教育部門

国際的な教育拠点を目指して学内外で放射線・原子力教育、人材育成を進めています。IAEAとの連携による医療人材育成プログラムを進めるほか、保健学科が推進してきた医学物理士養成プログラムなどの教育プログラムを部局横断的に推進します。また、全学の放射線教育訓練、放射線関連アウトリーチ活動などのミッションを持っています。

## 附属ラジオアイソトープ総合センター

放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ(RI)総合センターは、放射性同位元素等の安全管理や施設の共同利用を通して、放射性同位元素にかかわる教育・研究の進展に資することを目的としています。そのため、機構内のすべての部門と一体となって、本学の放射性同位元素等の安全管理に必要な共通業務を行うとともに、施設を大阪大学内外の共同利用に供します。

- (1)放射性同位元素等を使用する施設を置く学内部局等の安全管理の総合調整を行います。
- (2)放射性同位元素等の取扱業務に従事する者等の教育及び訓練を実施します。
- (3)放射性同位元素等の安全管理に関連した研究、放射線、放射性同位元素等の高度利用に関係した研究を行います。
- (4)放射性同位元素等の安全管理及び施設の共同利用に必要な業務を行います。

連絡先：放射線科学基盤機構 機構長 篠原 厚

(TEL) 06-6850-5415 (E-mail) shino@chem.sci.osaka-u.ac.jp

事務担当：豊中事務局 山本 愛

(TEL) 06-6850-8271 (E-mail) yamamotoai16@chem.sci.osaka-u.ac.jp